

# (10/22) フォトロゲイニング開催における基本方針

## 日本フォトロゲイニング協会

監修者の皆さまへ

日本フォトロゲイニング協会の伊藤です。

平素より日本フォトロゲイニング協会にご協力いただき、ありがとうございます。

フォトロゲイニングにおける「屋内での定員設定」について  
お問い合わせがありましたので、回答を共有します。

フォトログの 10/22 時点での基本方針は、6/1 発行のまま変更ありません。

「屋内では同時に滞在する人数を収容定員の 50%以下にする」

<https://photorogaining.com/1982/>

当協会が現時点で参考しているのは以下の 2 つです。

資料 1)

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室

令和 2 年 9 月 11 日【事務連絡】9 月 19 日以降における催物の開催制限等について

[https://corona.go.jp/news/pdf/jimurenraku\\_20200911.pdf](https://corona.go.jp/news/pdf/jimurenraku_20200911.pdf)

資料 2)

日本スポーツ協会・スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン【10 月 2 日更新版】

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>

催物の開催制限は、

大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの（100%）と、

大声での歓声・声援等が想定されるもの（50%維持）の、

2 種類で分けられています。

フォトログは大声は出ませんが、

スポーツイベントであり、発汗した状態で帰ってくることで、作戦などの会話があることから、  
現時点では厳しめ＝50%維持の対応を取っておく方がよいと考えています。

ただし、資料 1) 7 ページに、

「異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ（5人以内に限る。）内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。」とありますので、チームで申し込みを受けているなら、上記に合わせた調整が可能です。

当協会が監修している自治体（区市町村、県）の主催大会がいくつかあり、定員設定について意見のすり合わせをしていますが、どの自治体も「50%維持」という見解です。

フォトログейニングの特性を理解して頂いたうえで、これからも継続したい、そのために今は慎重に進めたい、という声を頂いています。

今後の当協会サイトでの情報更新について、1ページにまとめて公開できるよう、準備を進めています。公開後に改めてお知らせします。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

◎○……

一般社団法人 日本フォトログейニング協会（事務局）

Email: [info@photorogaining.com](mailto:info@photorogaining.com)

URL: <http://photorogaining.com/>

……○◎